西暦2018年1月15日作成

西暦2023年1月11日更新

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

現在、血液内科では、通院または入院歴があり、検体の保管と研究利用について「血液細胞を医学研究(遺伝子解析および蛋白質解析など)のために提供していただくお願いと説明」文書にて包括的同意をいただいている患者さんの検体と診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の検体・診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名]　KIR 多型と HLA の組み合わせが血液疾患の予後に及ぼす影響についての解析
[研究対象者]　血液疾患があり平成 12 年 6 月 1 日から平成 30 年 2 月 1 日の間に当科に通院または入院歴のある患者さん。

[利用している検体・診療情報等の項目]

検体：血漿、血清、DNA、病理検査標本（うち、残余があるものに限る。）

診療情報等：年齢、性別、身長、体重、病理組織型、進行期、既往歴、疾患名、手術名、前治療歴、併存合併症の有無、血液生化学検査、骨髄検査、髄液検査、画像評価、治療内容、治療効果、治療関連の副作用　等

[利用の目的]　　（遺伝子解析研究：　無）
NK細胞は血液疾患において抗腫瘍免疫を担いますが、その機能調節に重要な役割を果たすKiller immunoglobulin-like receptor (KIR)の組み合わせは、遺伝学的に多様でありそれに基づいた機能にも多様性があることが知られています。ご提供いただく血液や生検検査時の残検体を用いてNK細胞の機能に関わるタンパク発現解析および遺伝子発現解析、KIR多型解析を行います。また、病理検査のパラフィン包埋標本を用いてNK関連抗原の免疫組織化学染色を行います。これらの検査結果と診療情報と合わせてその動態や治療成績などとの関連性を検討します。
[利用期間]　2018年2月より2028年1月11日までの間（予定）

[この研究での診療情報等の取扱い]
本学倫理委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には**匿名化処理を行い**、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。

[研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

研究責任者：東京女子医科大学　血液内科　准講師　田中紀奈

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学　血液内科　准講師　田中紀奈

電話：03-3353-8111　（内線28019）（応対可能時間：平日9 時～16 時）

ファックス：03-5269-7618　　　　Eメール：tanaka.norina@twmu.ac.jp